

スクールソーシャルワーク再考

—10年目の原点回帰—

香川スクールソーシャルワーカー協会では、スクールソーシャルワーカー（以下、SSWer）の養成・育成並びにスクールソーシャルワーク（以下、SSW）の普及・啓発を目的に、協会設立年度である2006年度から「スクールソーシャルワークセミナー」を開催しています。

本年度は、『スクールソーシャルワーク再考』をテーマに、SSWerをはじめ関係者の方々と一緒に、改めて学校へのソーシャルワーク導入の意義について語り、考えていきたいと思ひます。

- 開催日時** 2017年11月18日(土) 9:50~12:30 (受付9:30~)
- 会場** ユープラザうたづ 1階 視聴覚室
- 参加費** 1,000円(学生 500円)
- 定員** 90名(先着順) ※ 定員超過で申し込みをお断りする場合のみ連絡いたします。

基調講演

10:00~11:00

SSW再考 —10年目の原点回帰—

講師:奥村 賢一(おくむら・けんいち) 氏

福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 准教授

日本学校ソーシャルワーク学会 理事兼事務局長 ほか

講演概要

2008年度の「スクールソーシャルワーカー活用事業」により、全国的にSSWerが配置されてから10年目を迎えます。この間、SSWを取り巻く環境は目まぐるしく変化を遂げ、昨今では国が「チーム学校」を打ち出し、2020年度までにSSWerを1万人まで増員していく方針を示しています。そこで今回は10年を一区切りと捉え、新たなスタートに向けて私たちが取り組むべきことについて原点回帰をキーワードに考えてみたいと思ひます。

シンポジウム

11:15~12:15

スクールソーシャルワーカーの役割

- 《シンポジスト》 長木 里織 氏(香川県立小豆島中央高等学校 教育相談担当教諭)
下河 芳子 氏(高校教育課 SSWer/香川SSW協会会員)
川上 楽 氏(SSW制度 利用者/四国学院大学職員)
- 《司会》 西谷 清美 氏(四国学院大学社会福祉学部 教授
/香川SSW協会会員)
- 《総評》 奥村 賢一 氏(同上)

シンポジウムのねらい

果たして、SSWerは、役に立っているのか。役立っているとすれば、誰の役に立っているのか。教育相談担当教諭、SSW制度の利用者、そして現場のSSWerにSSW活動を語ってもらうことで、改めてSSWerの役割を確認します。



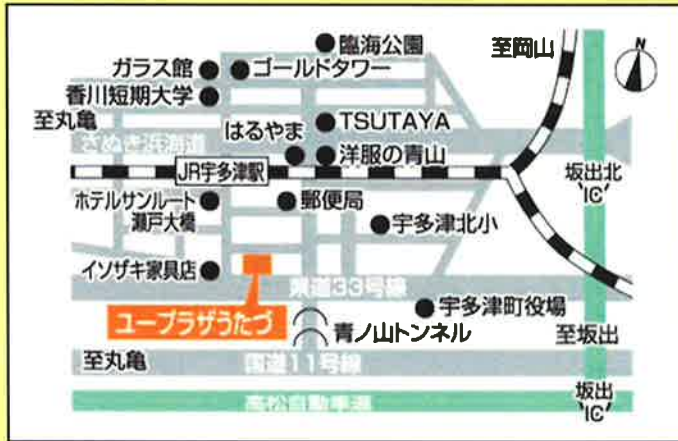
会場へのアクセス

◆お車でお越しの方：坂出インターチェンジより約15分

※ 駐車場は台数に限りがあります。公共交通機関をご利用になるか、乗り合せの上ご来場ください。

◆JRでお越しの方：JR宇多津駅南口より歩いて徒歩5分

会場案内図



会場案内



香川県綾歌郡宇多津町浜六番丁 88 番地

TEL 0877-49-8020

FAX 0877-56-7282



申し込み

参加ご希望の方は、下記メールアドレスに、件名をセミナー参加希望とし、氏名・所属・連絡先(携帯電話可)を明記のうえ、ご送信ください。または、以下の欄に記入の上、コピーを郵送でお送りください。

* 知り得た情報は、今回のセミナー以外では使用いたしません。

◆郵送先及び問い合わせ先 香川スクールソーシャルワーカー協会

〒765-8505 香川県善通寺市文京町3-2-1

四国学院大学社会福祉学部 西谷研究室

香川スクールソーシャルワーカー協会事務局 宛

◆メールアドレス kagawa.k.ssw@gmail.com

前夜の懇親会
ご期待ください!!

氏名(ふりがな)	
所 属	
連絡先(電話番号)	
懇親会案内	要 ・ 不要

※ 参加をご検討いただける方に後日案内させていただく予定です。

後 援：香川県教育委員会、社会福祉法人香川県社会福祉協議会

(予定) 一般社団法人香川県社会福祉士会、香川県精神保健福祉士協会

香川県ソーシャルワーカー協会、香川県医療ソーシャルワーカー協会

四国学院大学、四国新聞社(順不同)